

取扱説明書

旧車 GAUGE

STEPPING MOVEMENT

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称	2
配線接続方法	2
製品の装着	3
ハコスカ 前期	4
ハコスカ 後期	5
ケンメリ	6
フェアレディ Z (S30)	7
基本動作	8
故障かな?と思ったら	8

内容物をご確認ください



⚠️ 必ずお読みの上で作業を行ってください。

- 本製品の装着には、車輛メーターなどの着脱など専門知識が必要です。不安な方は専門工場などにご相談ください。
- 車輛側の作業説明は弊社ではできませんので、各車の整備書などを参考にしてください。
- 特殊な点火方式の場合は正常に動作しない場合があります。
- 車輛メーターの個体差により加工が必要な場合があります。
- 車輛への取り付けは動作確認後に行ってください。
- 製品の点検・修理などによる脱着作業、運賃などの費用は弊社では負担いたしません。
- 本製品装着後の車輛故障、事故など一切のトラブルに弊社は責任を負いません。

特長

純正デザインの旧車用タコメーター

見た目は純正、中身はハイテクで高精度、ハイレスポンス。

純正形状の外観

文字板は純正と同じ形状と印刷方法で変色せず、指針部と併せ純正形状に新規設計した部品を使用し量産化を可能にしました。

車種別対応

ブレーキ、ハイビーム、ウインカーなど各車ごと必要な表示がされた専用文字板。

幅広い点火システムにも対応

点火システムが純正でも異なる方式に交換してあっても後付けタコメーターと同様に回転信号検出式のため幅広い点火システムに対応。
※稀に特殊なシステムは動作に支障がある場合があります。

お好みに応じた文字板

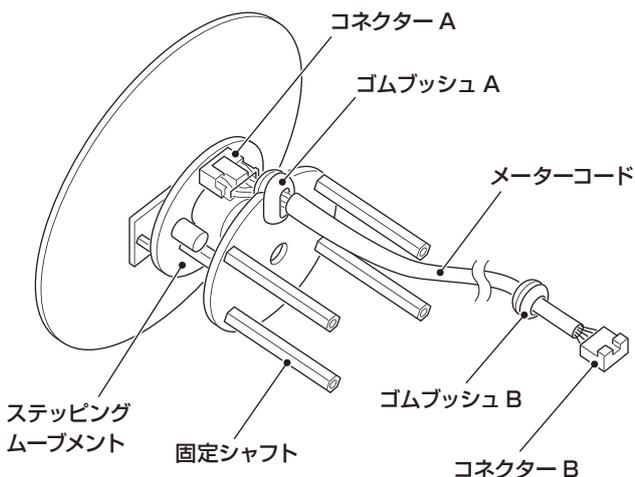
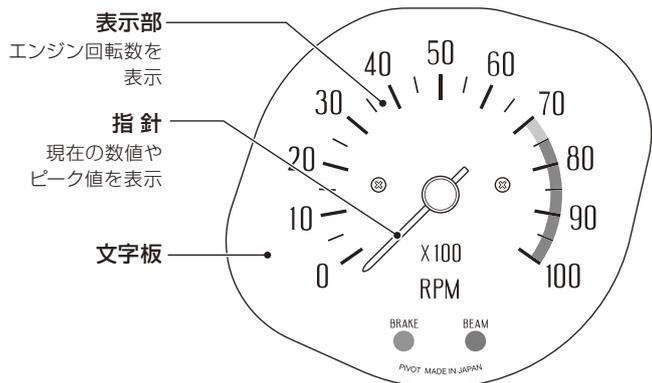
車種により2種類のスケールを用意しお好みに応じた選択が可能です。

オートピーク表示

エンジンを切ると始動時からのピーク値を数秒間表示し再始動する初の表示方法で、スイッチを押さずピーク値を確認できます。(特許出願済)

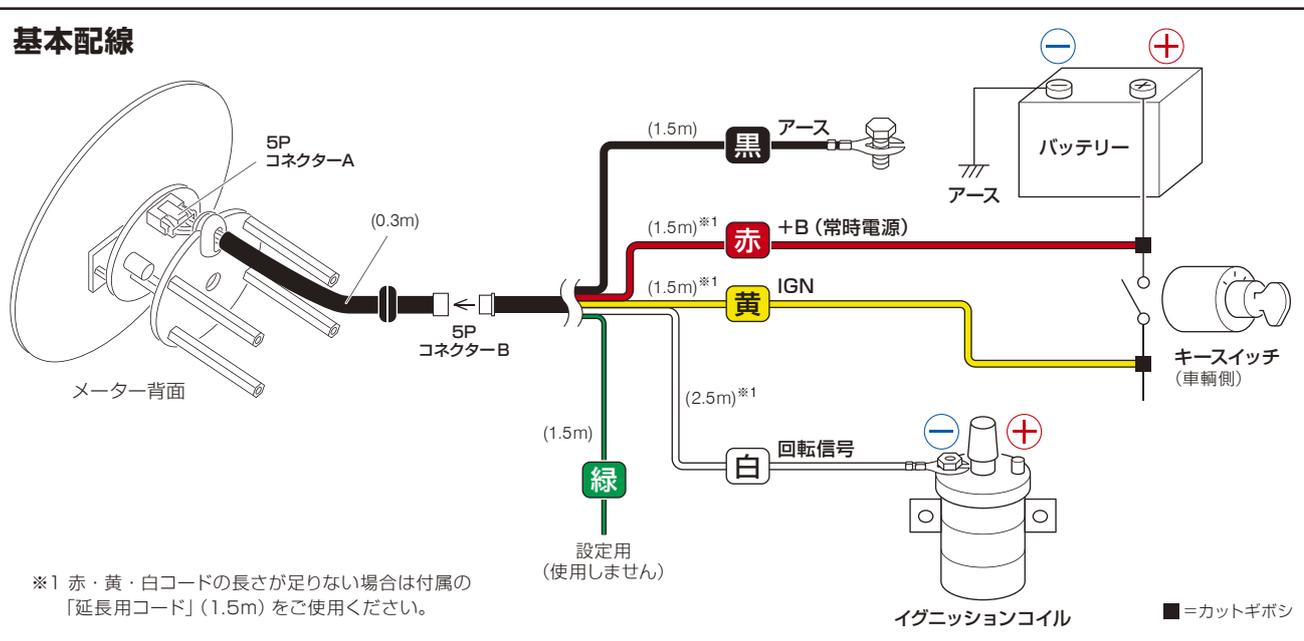
各部の名称

例：ハコスカ後期 (10000rpm)



配線接続方法

基本配線



配線作業時はバッテリー⊖端子を外し、装着後に戻してください。

+B (常時電源)

赤 常時+12Vの場所へ付属のカットギボシなどを使用し、接続する。

IGN

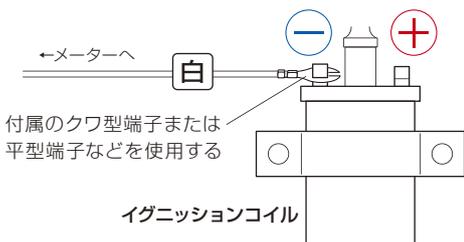
黄 キースイッチ ONで+12Vの場所へ付属のカットギボシなどを使用し、接続する。(常時・ACC不可)

アース

黒 アースが取れる金属部のネジに固定する。プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

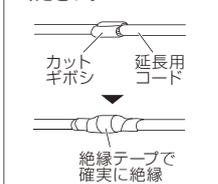
エンジン回転信号

白 イグニッションコイル⊖へ接続する。

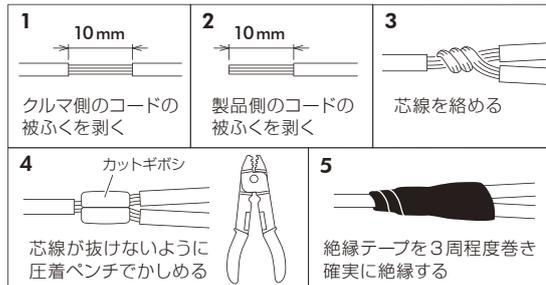


延長用コードの使い方

赤・黄・白コードの長さが足りない場合は、付属の延長用コードをご使用ください。



カットギボシの使い方



※ MSDは灰色線へ、その他の点火性能アップ製品は各製品のメーカーへご確認の上、回転信号へ接続してください。

製品の装着

1. 装着前の動作確認

※ 2ページ「基本配線」を参考に本製品の正常動作を確認してから車輻メーターとの交換を行ってください。(箱に固定された状態で動作確認できます。)

※ 動作確認時はバッテリーの端子を接続して行ってください。

- ① 車輻のキースイッチをONにするとオープニング動作をする。
- ② エンジンを始動するとアイドル回転を表示する。
- ③ エンジン回転を上げると回転表示も上がる。
- ④ 車輻のキースイッチをOFFにすると針が0へ移動後ピーク値を表示し0より下の位置まで下がる。
- ⑤ 車輻メーターとの各表示差が大きくない。(500rpm位)



例：ハコスカ前期(10000rpm)

2. 車輻メーターの分解

- ① 車輻メーターの着脱作業は修理書などを参考にお客様側で行ってください。弊社では説明できません。
- ② 分解作業はスマートフォンなどで撮影しておくとき便利です。

3. メーターの装着方法

メーター固定時の注意



メーターを持つ時は文字板の表面に指紋などが付かないように手袋をして作業してください。汚れた時は中性洗剤を薄め、柔らかい布で拭き取ってください。

※アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。



装着方法は車種ごとに異なりますので、下記の各ページをご覧ください。

- ハコスカ 前期 ⇒ 4ページ
- ハコスカ 後期 ⇒ 5ページ
- ケンメリ ⇒ 6ページ
- フェアレディZ (S30) ⇒ 7ページ

4. 配線処理

本製品のコネクタを接続し各配線を処理する。(2ページ参照)

5. 車輻メーターの組み立て

- ① バッテリーの端子を外す。
- ② 車輻メーターを元通りに装着する。

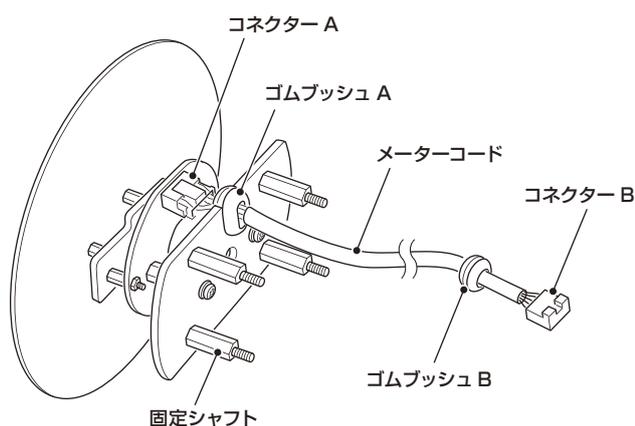
6. 動作確認

- ① バッテリーの端子を戻す。
- ② エンジンを始動し本製品の動作を確認する。

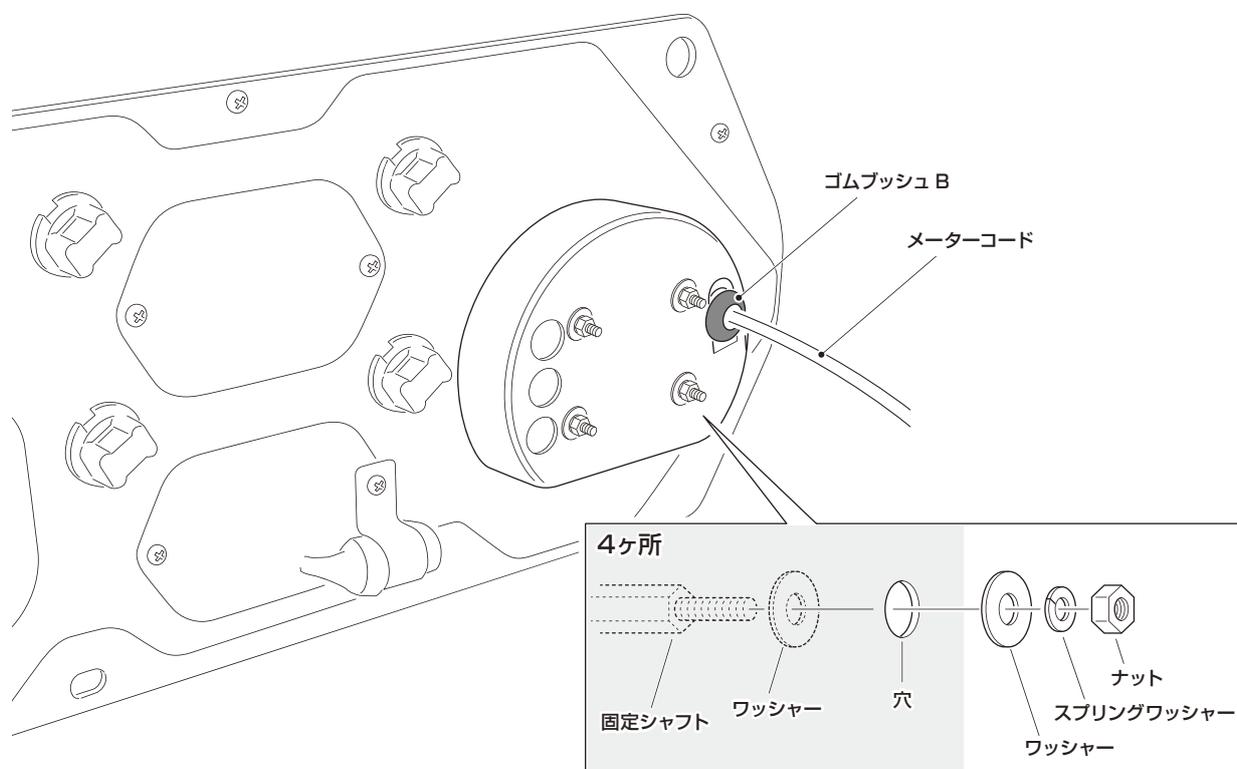
メーターの装着方法

ハコスカ 前期

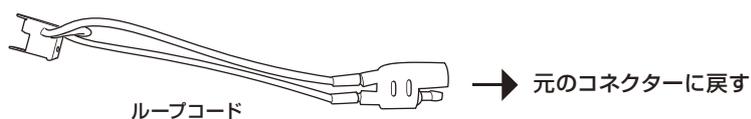
- ① 純正メーターを取り外す。
- ② 本製品のコネクターAやゴムブッシュAがしっかり差し込まれていることを確認する。



- ③ 下図のようにメーターコードを穴から通し、その穴にゴムブッシュBをはめ、4ヶ所の固定シャフトをナットで止めてメーターを固定する。



- ④ 取り外したループコードは必ず元のコネクターに戻す。
※ ループコードが元通りになっていないとエンジンが始動しません。

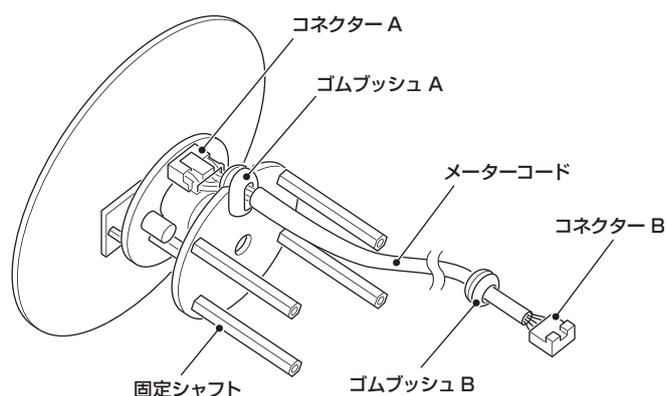


- ⑤ 3ページに戻り、「4.配線処理」を行ってください。

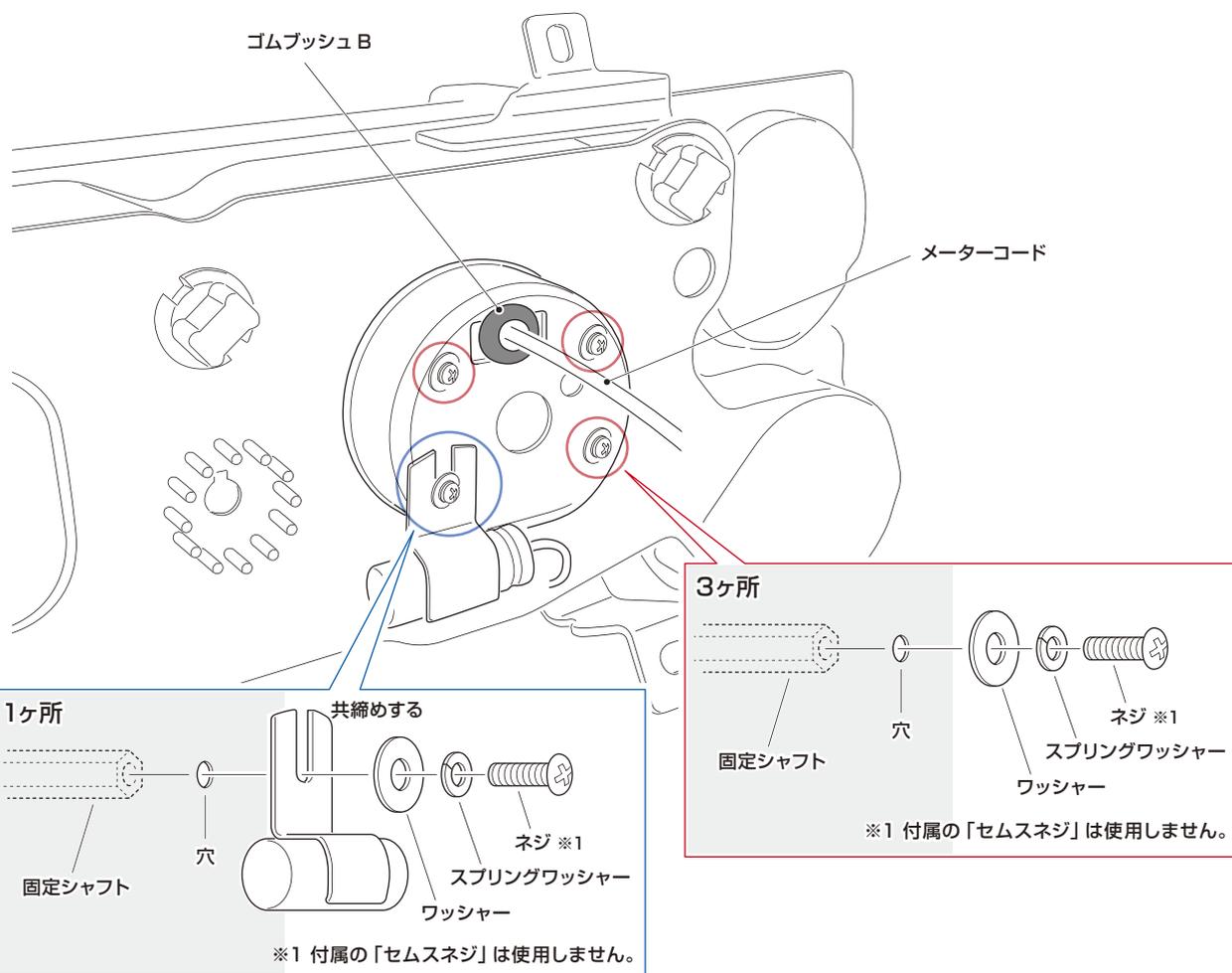
メーターの装着方法

ハコスカ 後期

- ① 純正メーターを取り外す。
- ② 本製品のコネクターAやゴムブッシュAがしっかり差し込まれていることを確認する。

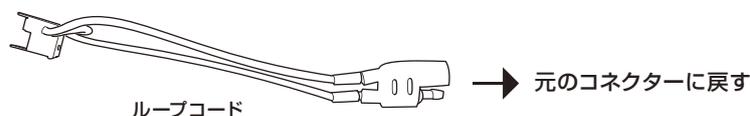


- ③ 下図のようにメーターコードを穴から通し、その穴にゴムブッシュBをはめ、4ヶ所の固定シャフトをネジ止めしメーターを固定する。



- ④ 取り外したループコードは必ず元のコネクターに戻す。

※ ループコードが元通りになっていないとエンジンが始動しません。

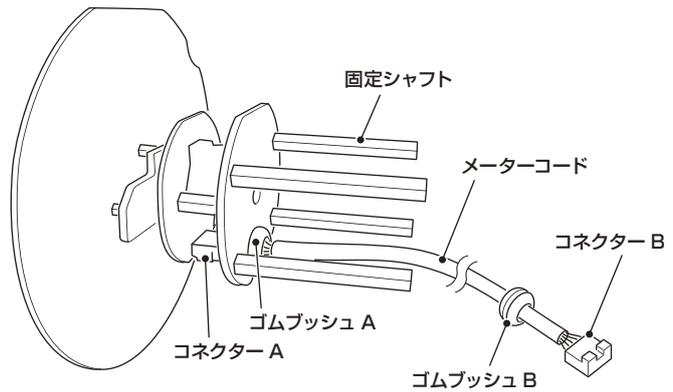


- ⑤ 3ページに戻り、「4.配線処理」を行ってください。

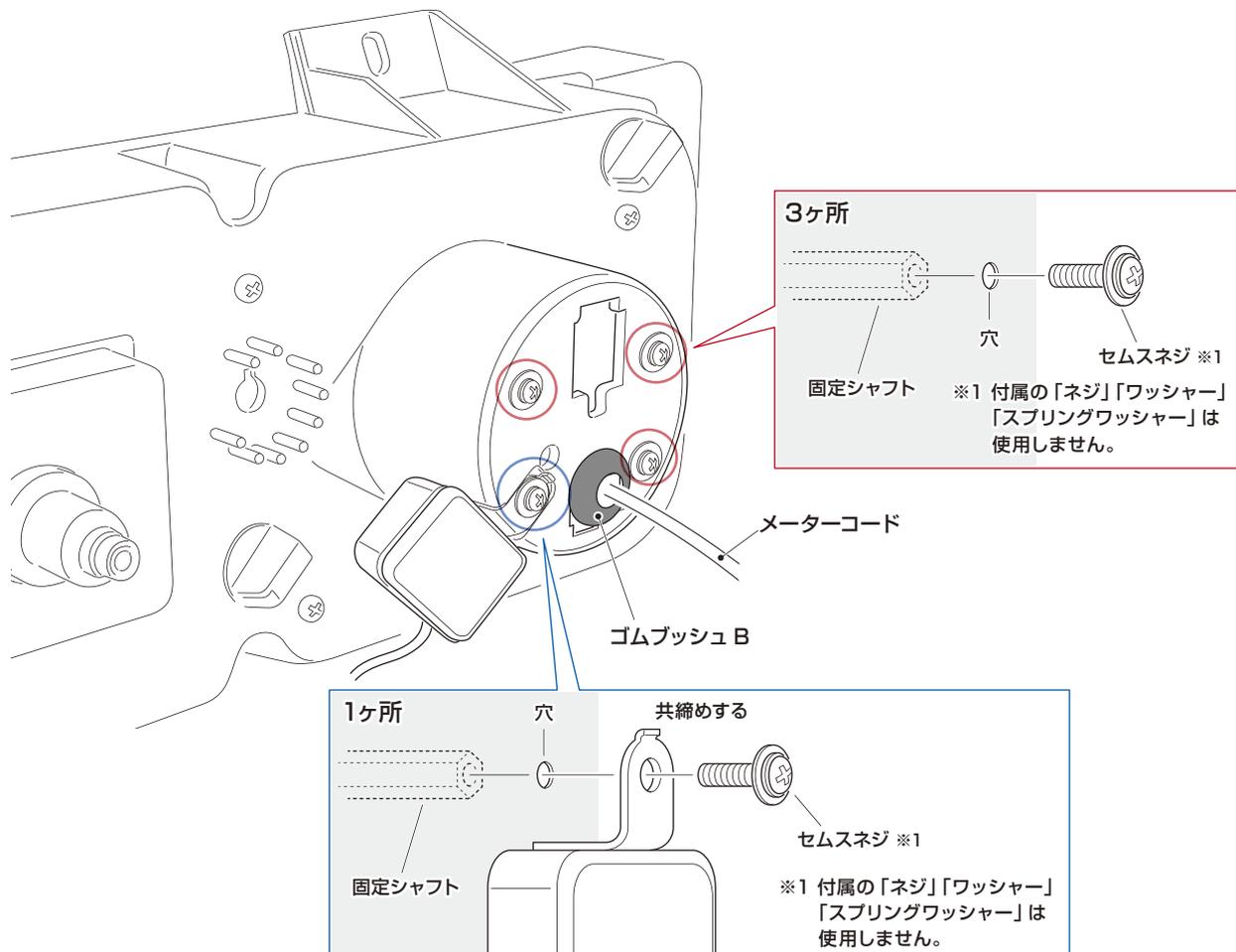
メーターの装着方法

ケンメリ

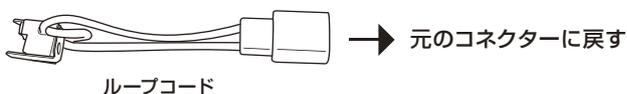
- ① 純正メーターを取り外す。
- ② 本製品のコネクターAやゴムブッシュAがしっかり差し込まれていることを確認する。



- ③ 下図のようにメーターコードを穴から通し、その穴にゴムブッシュBをはめ、4ヶ所の固定シャフトをネジ止めしメーターを固定する。



- ④ 取り外したループコードは必ず元のコネクターに戻す。
※ ループコードが元通りになっていないとエンジンが始動しません。

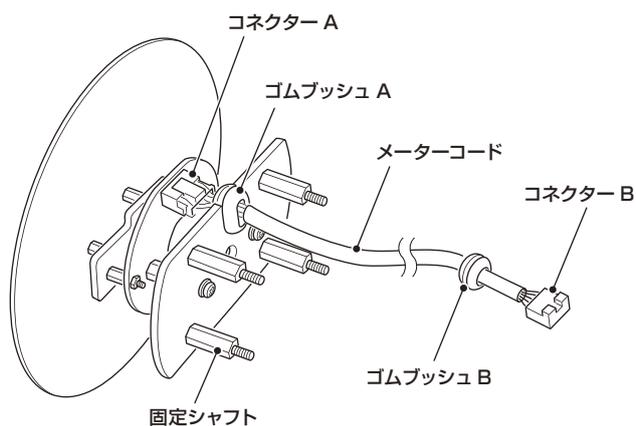


- ⑤ 3ページに戻り、「4.配線処理」を行ってください。

メーターの装着方法

フェアレディZ (S30)

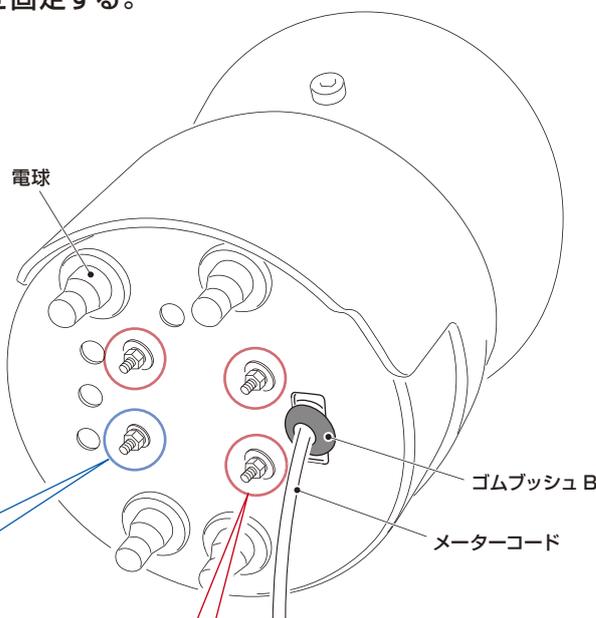
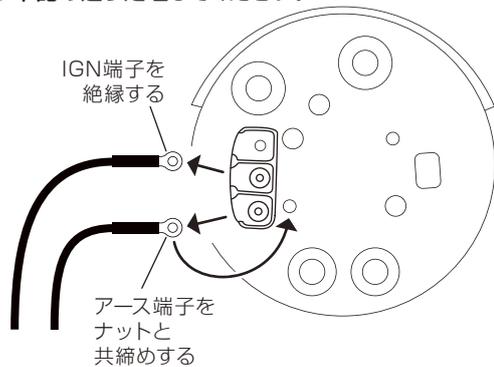
- ① 純正メーターを取り外す。
- ② 本製品のコネクターAやゴムブッシュAがしっかり差し込まれていることを確認する。



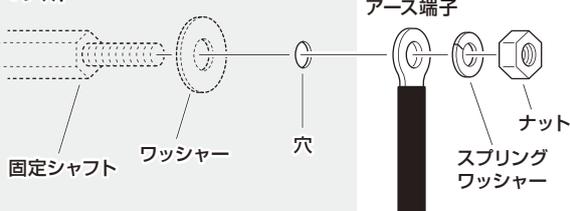
- ③ 下図のようにメーターコードを穴から通し、その穴にゴムブッシュBをはめ、4ヶ所の固定シャフトをナットで止めてメーターを固定する。



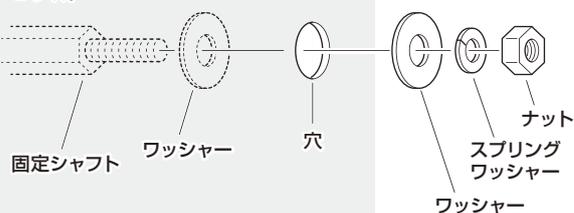
純正メーターに接続されていた各コードの端子は下記の通り処理してください。



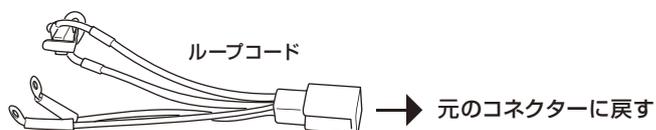
1ヶ所



3ヶ所



- ④ 取り外したループコードは必ず元のコネクターに戻す。
※ ループコードが元通りになっていないとエンジンが始動しません。



- ⑤ 3ページに戻り、「4.配線処理」を行ってください。

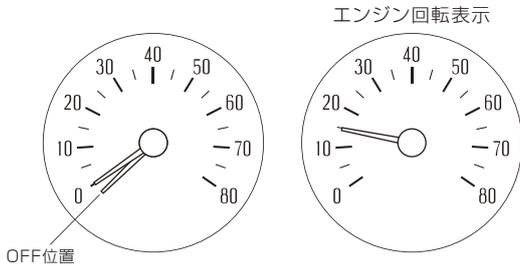
基本動作

■ 始動時の通常動作

キースイッチ ON = 指針が OFF 位置から 0 位置へ移動。



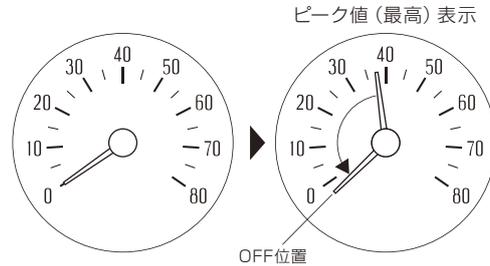
エンジン始動 = 指針がエンジン回転数を表示。



■ 停止時の通常動作

キースイッチ OFF = 指針が 0 位置から最高回転数を数秒間表示し OFF 位置へ移動。

※ ピーク値はエンジン始動後の最高回転です。
 ※ OFF 位置後に再始動するとピーク値はリセットされます。



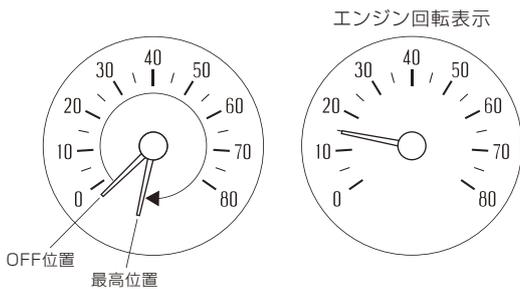
■ 0点検出動作

- ① 本機能はバッテリー端子接続後に指針の 0 位置を設定する初期設定動作です。
- ② 本動作後は通常動作になります。

キースイッチ ON = 指針が OFF 位置で数回動き最高位置へ移動してから戻る。



エンジン始動 = 指針がエンジン回転数を表示。



故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジンがかからない。	車輛のループコードが抜けている。	説明書を参考に元に戻す。(4～7ページ参照)
メーターが動かない。	各配線の接触不良。	説明書を参考にテスターなどを使用して確認して再接続。
キースイッチ ON 時、針が 0 点以外を表示する。	強い衝撃などで 0 点がずれた。	5P コネクター B を抜いて差し直す。またはバッテリーの ⊖ 端子を外して戻しキースイッチ ON で「0 点検出動作」をする。(8 ページ参照)
キースイッチ ON で針が「0 点検出動作」をする。	バッテリーの端子を再接続した。	故障ではありません。一度動作後、通常動作になります。
エンジン動作中、針が異常な動きをする。	① 特殊な点火方式 ② 各配線の接触不良	① 装着できない場合もあります。 ② 説明書を参考にテスターなどを使用して確認して再接続。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。